

2016年3月30日

佐世保市長 朝長則男様

石木ダム建設絶対反対同盟
石木川の清流を守り川棚川の治水を考える町民の会
水問題を考える市民の会
石木川まもり隊
石木川の清流とホタルを守る市民の会
市民ネットワークさせば

署名提出にあたっての要請書

石木ダム事業に関し、本件事業に反対する私たち県内6団体は、県内外から寄せられた署名19,354筆を提出するにあたって、以下の理由からあらためて石木ダム事業からの撤退を求めます。

一、1万9千超の県内外の市民の声を真摯に受け止め、強制収用は断念してください

2014年9月5日、長崎県と佐世保市は強制収用を可能にする裁決申請をおこない、その翌日から、私たちは「強制収用を許さない」との思いで、署名運動を開始しました。

この署名には、本件事業に対する大きな疑問と、ダム予定地の豊かな自然と歴史・文化を守りたいという強い願いが込められています。それは今回、署名とともに提出する県内外の市民622名から寄せられたコメントを読めば明らかです。これは「石木川まもり隊」がインターネット上で呼び掛けたネット署名に添えられていたものです。その一つ一つをぜひ市長にも読んで頂きたい。市民の生の声に真摯に耳を傾け、強制収用は断念してください。

一、既に石木ダム事業は破たんしています。速やかに事業の中止を決断すべきです

石木ダム建設計画が持ち上がって既に半世紀を超えていますが、まだ実現しないどころか、完成の目途さえたっていません。ということは、本質的に必要不可欠な事業ではないということです。

私たちは公開質問状等で、利水において石木ダムは必要ないという具体的なデータを示して論じてきましたが、今日まで貴職からそれに対する明確で合理的な説明はありません。人口減少に比例して全国どこでも水需要が減少する中で、佐世保市だけが急激に増加するという市の予測は何の根拠もなく、ダムの必要性を捏造するための数字合わせでしかありません。

いま佐世保市が早急にやるべきことは新たな水源確保ではなく、老朽化した水道管の調査や更新工事であり、そのための財源確保です。これ以上、破綻した事業へ水道料金や税金を垂れ流すのは止めて、すみやかに石木ダム事業中止を決断してください。